

令和4年度 再評価対象事業一覧表

整理番号	事業計画								再評価の理由 ²	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)	
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期				事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト削減及び代替案立案の可能性の有無
						着工	完了	事業費(億円)		前年度協賛事業費	進捗率	用地進捗率	R4年度事業費	R5年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化			
漁港-1	水産流通基盤整備事業	阿翁浦漁港	県	松浦市	西防波堤(改良) L=140m 北防波堤(改良) L=100m 護岸(改良) L=50m -3m岸壁(改良) L=279.2m 浮桟橋 N=2.0基 沖防波堤 L=185m -3m岸壁(改良) L=75m 浮桟橋 N=1.0基	H24	R3	15.6	13.4	74.4	(-)	1.3	3.3	・長崎県水産業振興基本計画 ・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 基本戦略2-3 施策2 「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」に位置付けられている。	・海面漁業は横ばい傾向にあるが、養殖業は増加増額傾向にある。	・「松浦市」「新松浦漁業協同組合」から整備促進の要望を受けている。(現時点無し、機能診断結果による改良のため)	1.46	1.21	【プラス要因】 ・水揚げ金額、水揚げ量の増加 【マイナス要因】 ・事業費の増(対象施設の追加変更) ・登録漁船数の減少 ・人件費などの物価上昇	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・防災のための防波堤及び岸壁の改良であり、代替案の可能性は無い。	-	継続
						H24	R8	18.0														
漁港-2	水産生産基盤整備事業	星鹿漁港	県	松浦市	西防波堤(改良) 96m 沖防波堤(A) 40m 東防波堤(改良) 50m -3m岸壁(改良) 30m 浮桟橋 1基 防波堤 40m 防波堤(改良) 260m 護岸(改良) 83m	H24	R3	11.6	12.5	65.8	(-)	0.2	6.3	・長崎県水産業振興基本計画 ・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 基本戦略2-3 施策2 「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」に位置付けられている。	・海面養殖業が好調であり、属地陸揚量及び陸揚金額が増加している。	・地元漁協から整備促進の要望を受けている。	2.98	1.59	【プラス要因】 ・陸揚量及び陸揚金額の増加 【マイナス要因】 ・事業費の増(沖防波堤(A)の構造見直し等) ・工期の延長(構造の変更等) 【その他要因】 ・原単位の見直し	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・工法比較を行い、経済性及び施工性を総合評価した上で工法等を採用しており、最適な工法となっている(代替案はない)。	-	継続
						H24	R8	19.0														
漁港-3	水産生産基盤整備事業	芦辺漁港	県	壱岐市	瀬戸防波堤(A)(改良) 113m -7m航路 4000㎡ 浮桟橋() (移設) 1基 外防波堤(改良) 200m 北防波堤(改良) 100m 防波護岸(改良) 1式 馬ノ瀬東防波堤 98m	H24	H28	7.5	20.6	76.0	(-)	2.0	4.5	・長崎県水産業振興基本計画 ・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 基本戦略2-3 施策2 「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」に位置付けられている。	・年々勢力を強める台風の影響を受け、港内施設等の被災が頻発している。 ・島内漁業者の高齢化による、漁業者の減少がみられる。	・地元市、漁協、航路運航者からの整備要望を受けている。	1.35	1.14	【プラス要因】 ・防波堤整備に伴う便益の追加 【マイナス要因】 ・事業費の増(施設の追加) ・工期の延長(砂揚げ用地移転調整の遅延)	・コスト増は整備施設の追加によるものであり、かつこれまで可能な限りコスト削減を図っているため、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・事業進捗率は6割を超えており、断面構造が連続しているため代替案立案は困難。	-	継続
						H24	R7	27.1														
漁港-4	漁港関連道整備事業	新獅子漁港	平戸市	平戸市	道路 延長 L=634m 幅員 W=4.0(5.0)m	H24	H28	3.7	2.4	77.4	51(63)	0.1	0.6	・長崎県水産業振興基本計画 ・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 基本戦略2-3 施策2 「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」に位置付けられている。 ・平戸市未来創造羅針盤(第2次平戸市総合計画)「持続可能な水産業を確率する」に位置付けられている。	・平成30年4月に近隣5漁港(獅子漁港・根獅子漁港・飯良漁港・春日漁港・高越漁港)を合併し、新獅子漁港となった。	・漁協や漁港背後集落の住民より早期完成の要望を受けている。	1.39	1.11	【プラス要因】 ・事業費の減 【マイナス要因】 ・工期の延長(用地解決の遅延) ・整備延長の延伸(計画変更)	・可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。	-	継続
						H24	R7	3.1														

令和4年度 再評価対象事業一覧表

整理番号	事業計画							再評価の理由 ²	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)			
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	前年度協 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%) ³	R4年度 事業費 (億円)				R5年度 以降事業 (億円)	B / C				分析基礎の 要因の変化		
						着工	完了																当初 ¹	現行
						上段：当初	下段：変更																	
漁港-5	海岸高潮対策事業	為石漁港海岸	長崎市	長崎市	離岸堤 150m	H24	H29	10.0	事業採択後 10年経過	4.7	29.4	(-)	0.5	10.8	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3- 「防災・減災対策のための国土強靱化の推進」に位置付けられている。 ・長崎市国土強靱化地域計画 1-3- 「漁港施設の静穏度確保及び海岸保全区域の越波対策」に位置付けられている。	・年々勢力を強める台風の影響を受け、幹線道路及び市民の生命・財産を害する懸念がある。	・地元である為石小学校区連合自治会や水揚げ場を利用する水産業従事者及び野母崎三和漁業協同組合からは、整備促進の要望を受けている。	33.42	23.27	[マイナス要因] ・事業費の増 ・工期の延長(工事進捗の遅れ)	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・断面構造が連続していることから現状から代替案に変更することは出来ない。		継続	
						H24	R8	16.0																
道建-1	道路改築事業	一般国道499号(栄上拡幅)	県	長崎市	延長 L=1,300m 幅員 W=13.0(22.0)m	H20	R5	44.0	再評価後変更	38.6	72.8	89(31)	3.2	11.2	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-2- 「生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充」に位置付けられている。	・特に開発計画はなく人口の変動は少ない。 ・令和3年10月長崎市恐竜博物館開館(長崎市野母町)	・「長崎市」および「一般国道499号道路整備促進協議会」から整備促進の要望を受けている。	1.10	1.05	[プラス要因] ・費用便益分析マニキュアルの改訂 原単位の増加 [マイナス要因] ・事業費の増 ・工期の延長 [その他要因] ・労務単価および諸経費率の上昇	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・約850m区間を供用開始しており、代替案の可能性は無い。	R1	継続	
						H20	R7	53.0																
道建-2	道路改築事業	主要地方道佐々鹿町江迎線(楠泊～矢岳工区)	県	佐世保市	延長 L=2,200m 幅員 W=6.0(9.75)m	H25	R5	16.5	再評価後変更	15.5	66.0	66(77)	0.2	7.9	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-2- 「生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充」に位置付けられている。	・佐世保港が「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定され、さらなるクルーズ船観光客が見込まれる。	・佐世保市からの整備促進の要望	1.12	1.02	[プラス要因] ・大型車交通量の増加 ・費用便益分析マニキュアルの改訂 原単位の増加 [マイナス要因] ・事業費の増 ・工期の延長	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。	R2	継続	
						H25	R8	23.5																
道建-3	道路改築事業	一般県道久山港線(久山工区)	県	諫早市	延長 L=1,300m 幅員 W=6.5(10.25)m	H27	R3	20.0	事業採択後 6～9年経過	21.1	46.9	92.9(92.9)	1.7	22.2	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-2- 「生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充」に位置付けられている。	・島原道路(諫早インター工区)、(鷲崎～栗面工区)の供用開始	・諫早市より整備促進(産業団地へのアクセス強化)が要望されている。	4.90	1.28	[プラス要因] ・費用便益分析マニキュアルの改訂 原単位の増加 [マイナス要因] ・事業費の増 ・工期の延長	・これまで可能な限りコスト削減(発生土砂の利用)を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・令和4年度中に一部供用のため、代替案の可能性は無い。	H26	継続	
						H27	R7	45.0																

令和4年度 再評価対象事業一覧表

整理番号	事業計画							再評価の理由 ²	事業進捗の状況及び見込み					再評価の視点				前回審議年度	対応方針(原案)				
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	前年度協 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%) ³	R4年度 事業費 (億円)	R5年度 以降事業 (億円)	上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向			費用対効果分析		コスト縮減 及び 代替案立案の 可能性の有無	
						着工	完了													B / C			分析基礎の 要因の変化
																				当初 ¹	現行		
道建-4	道路改築事業	主要地方道蔵原豆 敷美津島線(尾浦- 安神工区)	県	対馬市	延長L=1,900m、幅員 W=5.5(7.0m)	H27	R6	38.0	再評価後変更	36.3	71.2	95(100)	1.5	13.2	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-2-「生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充」に位置付けられている。 また、尾浦-安神工区は、観光地の一つである「鮎もどし自然公園」へのルートであるため、大型観光バス等の交通量も増加している。(H27~H30)	・対馬市から整備促進の要望を受けている。	1.06	1.01	【プラス要因】 ・交通量の増加(観光客の増加に伴う大型観光バス等の交通量増加) ・費用便益分析マニユアルの改訂(原単位(価格)の増加) 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長	・コスト縮減のため、事業区間終了点側200mの線形再検討を実施し、補強土壁工からブロック積工へ工法変更を行っている。	R1	継続	
						H27	R8	51.0															
道建-5	道路改築事業	一般国道384号(白魚バイパス)	県	新上五島町	延長 L=600m 幅員 W=5.5(7.0)m	H30	R5	5.5	事業採択後5年経過	3.3	21.1	21(95)	1.5	10.7	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-2-「生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充」に位置付けられている。 ・平成30年7月に「頭ヶ島教会」が世界遺産に登録され、観光客が増加している。	・「新上五島町」から整備促進の要望を受けている。	1.41	1.08	【プラス要因】 ・大型交通量の増加 ・費用便益分析マニユアルの改訂(原単位(価格)の増加) 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長	・これまで可能な限りコスト縮減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減は見込めない。 ・代替案の可能性はない。	H29	継続	
						H30	R9	15.5															
道建-6	道路改築事業	主要地方道平戸平線 (向月工区)	県	平戸市	延長 L=1,560m 幅員 W=5.5(7.0)m	H24	R6	22.2	再評価後変更	7.1	23.0	100(100)	0.8	23.0	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-2-「生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充」に位置付けられている。 ・平戸市内漁獲量1位を誇る宮ノ浦漁港は近年漁獲量が増え、鮮魚運搬車の増加・大型化が見込まれる。	・平戸市より整備促進の要望を受けている。	1.12	1.09	【プラス要因】 ・大型交通量の増加 ・費用便益分析マニユアルの改訂(原単位(価格)の増加) 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長	・これまで可能な限りコスト縮減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減は見込めない。 ・代替案の可能性はない。	R3	継続	
						H24	R8	30.8															
道維-1	道路改築事業	釜田線	平戸市	平戸市	延長 L=803m 幅員 W=5.5(9.25m)	H25	H30	2.8	事業採択後10年経過	6.3	67.7	100(100)	1.2	1.8	・第2次平戸市総合計画(2018-2027)の基本計画における[4.まちをつくるプロジェクト]3.住み良いまちを支える生活基盤の実現]6.交通安全対策を推進する・9.快適な交通ネットワークを整備する]として位置付けられている	・重要な生活道路であるが、現道は幅員が狭小なことから車両離合が困難で安全な交通、緊急車両の進入に支障をきたしている。また、視距が充分でないため危険な状態であり、地区住民は早急な解消を望んでいる。	-	1.06	【プラス要因】 - 【マイナス要因】 - 【その他要因】 -	・残事業期間も短く、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減は見込めない。 ・橋梁1橋を施工中であり代替案の可能性はない。	-	継続	
						H25	R5	9.3															

令和4年度 再評価対象事業一覧表

整理番号	事業計画							再評価の理由 ²	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)		
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析			コスト削減及び 代替案立案の可能性の有無	
						着工	完了			前年度迄 事業費	進捗率	用地 進捗率	R4年度 事業費	R5年度 以降事業				B / C				分析基礎の 要因の変化
						上段：当初 ¹	下段：変更			(億円)	(%)	(%) ³	(億円)	(億円)								
道維-2	道路改築事業	尾浦浅藻線	対馬市	対馬市	延長 L=2,300m 幅員 W=5.5(7.0)m	H25	R4	38.0	8.2	14.3	100(100)	5.0	44.0	第2次対馬市総合計画の「支え合いで自立した島」を目指した具体的な施策として[生活インフラの維持と安心・安全なまちづくり]に位置付けられている。	-	地元及びゴミ収集運搬業者、輸送業者等からも事業の早期完成を切望されている。	1.12	0.84	[プラス要因] ・交通需要推計データの更新 [マイナス要因] ・事業費の増 ・事業期間の延長 [その他要因] ・費用便益分析マニュアルの改定	-	継続	
道維-3	道路改築事業	木場山領線	雲仙市	雲仙市	道路改良 L=1,314m 幅員 W=4.0(5.0)m	H21	R5	10.0	9.1	64.9	94(98)	0.4	4.5	・第2次雲仙市総合計画 後期基本計画(2022-2026)において、本事業は、「2-6 観光・交流」、「3-1 道路・公共交通」として位置づけられている。 ・雲仙市小浜町には、R2.3に公立小浜温泉病院、R4.4に小浜体育館が、移転してオープンするなど、市民等が多く利用する公共施設が立地している。 ・本事業区間に並行して、国の直轄事業である富津防災が令和4年度に事業化された。	・地元からも整備促進を要望されている。	1.02	0.74	[マイナス要因] ・事業費の増(補強土壁の基準改定、労務単価・資機材の単価上昇など) ・工期の延長(用地解決の遅延、補強土壁工事の事業費増による期間延長) ・富津防災事業化による国道57号の迂回路としての期間の短縮 ・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。	H30	継続		
道維-4	道路改築事業	大野原高原線	東彼杵町	東彼杵町	延長 L=370m 幅員 W=6.0(7.5)m	H25	H29	2.4	3.0	72.0	97(97)	0.5	0.6	・第5次東彼杵町総合計画(2014~2023)基本方針2.5「地域の安全性、信頼性を確保する整備の推進」として位置付けられている ・大野原高原線道路の整備状況 橋梁(法音寺橋)(H30~R3完成) 道路改良(R4~R10予定)	・広域農道が接続する町道の改良事業について地元要望	2.47	1.63	[マイナス要因] ・事業費の増(労務費や資機材、諸経費等の価格上昇) ・工期の延長(用地取得、墓地移動遅延の工期延長) ・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・2級河川彼杵川を渡河する橋梁(法音寺橋)が完了しているため、代替案の可能性は無い。	0.0	継続		
港湾-1	港湾改修事業	高島港防波堤	県	長崎市	防波堤(沖)改良 220m 防波堤(南)改良 415m	H25	R7	29.2	2.2	6.9	-(-)	2.0	27.7	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025基本戦略3-3-「防災・減災対策のための国土強靱化の推進」に位置付けられている。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、高島港の乗降人員が減少している。	・長崎市より早期完成が望まれている。	1.12	1.11	[マイナス要因] ・事業費の増(労務・資材単価等の上昇) ・工期の延長(災害復旧工事によるブロック製作の制限) ・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	H29	継続	

令和4年度 再評価対象事業一覧表

整理番号	事業計画							再評価の理由 ²	事業進捗の状況及び見込み					再評価の視点					前回審議年度	対応方針(原案)				
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	前年度協 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%) ³	R4年度 事業費 (億円)	R5年度 以降事業 (億円)	上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析			コスト縮減 及び 代替案立案の 可能性の有無			
						着工	完了											B / C				分析基礎の 要因の変化		
						上段:当初 ¹ 下段:変更												当初 ¹					現行	
港湾-2	港湾改修事業	松島港離島ターミナル	県	西海市	防波堤A(改良) L=190m 防波堤B(改良) L=90m 泊地(-4.0m) L=500m2 浮桟橋(改良) N=1基 物揚場(-4.0m) L=50m 物揚場(-2.0m) L=20m 道路 L=130m 駐車場 A=2,800m2 ふ頭用地 A=2,800m2	H28	R2	12.0	事業採択後 6~9年経過	7.2	26.8	-	(-)	4.5	15.2	・松島火力発電所の2号機において、高効率の石炭ガス化複合発電への転換工事が2024年から開始される予定であり、工事関係者の増による乗降客数の増加が期待される。	・R3.8西海市からの知事要望の中で整備促進の要望を受けている。	1.33	1.23	【プラス要因】 ・背後地の浸水被害回避、施設被害回避便益の追加 【マイナス要因】 ・事業費の増(浮桟橋の構造変更、防波堤改良断面の増等) ・工期の延長(浮桟橋の構造変更、防波堤改良断面変更による)	・これまで可能な限りコスト縮減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続	
					H28	R10	26.9																	
港湾-3	港湾改修事業	早岐港小型船だまり	県	佐世保市	防波堤(1) L=55m 防波堤(2) L=70m 護岸(防波)(1) L=20m 護岸(防波)(2) L=130m 泊地(-3m)(防波堤撤去) L=35m 泊地(-3m) A=11,000㎡ 物揚場(-3m)(1) L=30m 物揚場(-3m)(2) L=80m 物揚場(-2m)(改良)L=65m 船揚場 L=15m 道路(1) L=5*70m 道路(2) L=5*170m 道路(3) L=5*85m 道路(改良) L=5*10m	H27	H31	9.0	事業採択後 6~9年経過	2.3	15.9	100(100)	1.6	10.6	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025基本戦略3-2-「国内外との交流の拠点となる港の整備」に位置づけられている。	社会経済情勢の変化について、大幅な変化はない。	・佐世保市南部漁協より早期完成の要望が上がっている。	1.69	1.17	【マイナス要因】 ・事業費の増(軟弱層が確認されたため地盤改良工法の追加) ・工期の延長(地元調整、用地補償の追加、地盤改良工法追加による)	・これまで可能な限りコスト縮減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続	
					H27	R10	14.5																	
港湾-4	海岸高潮対策事業	玉ノ浦港護岸	県	五島市	護岸(改良)L=735m	H25	H30	6.3	事業採択後 10年経過	7.4	63.8	-	(-)	1.2	3.0	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025基本戦略3-3-「防災・減災対策のための国土強靱化の推進」に位置づけられている。	社会経済情勢の変化について、大幅な変化はない。	五島市より早期完成が望まれている。	10.73	7.74	【プラス要因】 資産評価単価の増 【マイナス要因】 ・事業費の増(想定より水深が深かったため基礎形状の変更) ・工期の延長(基礎捨石の施工量増等による)	・これまで可能な限りコスト縮減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
					H25	R6	11.6																	
港湾-5	海岸高潮対策事業	東望海岸	長崎県	長崎市	堤体工(改良) L=630m 消波工(新設) L=630m	H25	R12	15.2	事業採択後 10年経過	4.6	30.3	-	(-)	0.4	10.2	・長崎市第五次総合計画個別施策E1-1「都市の防災機能向上を図ります」に位置づけられている。	社会経済情勢の変化について、大幅な変化はない。	沿岸部の地元住民より整備促進の要望を受けている。	5.40	4.89	【マイナス要因】 当該地域の人口及び保全家屋の減少	・これまで可能な限りコスト縮減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	H25	継続
					H25	R12	15.2																	

令和4年度 再評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画							再評価の 理由 2	事業進捗の状況及び見込み					再評価の視点				前回 審議 年度	対応 方針 (原案)				
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	前年度協 賛費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%) 3	R4年度 事業費 (億円)	R5年度 以降事業 (億円)	上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向			費用対効果分析		コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無	
						着工	完了													B / C			分析基礎の 要因の変化
						上段：当初 下段：変更 1														当初 1	現行		
河川- 1	広域河川改修事業	中島川	県	長崎市	延長 L=1,750m	S63	R4	98.4	再評価後変更	96.6	98.2	95(93)	0.5	1.3	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025(災害に強く、命を守る強靱な地域づくり)に位置付けられている。 ・長崎市庁舎の移設、新大工町再開発など、流域内での重要施設が増加している。	・長崎市出島復元計画表門橋架橋事業と併せて整備を行うことで出島周辺が活性化している。 ・洪水氾濫被害に対する安全確保のため、河川改修事業が望まれている。	5.30	5.14	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・工期延期 【その他要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレクターの改定	・代替案も含め、関係機関と協議中である。	H30	継続	
						S63	R10	98.4															
河川- 2	総合流域防災事業	有喜川	県	諫早市	改修延長 L=1,750m 河道拡幅、河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替及び堰改築	H5	R8	42.0	事業採択後 5年経過	29.7	59.4	94(86)	5.0	15.3	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025(災害に強く、命を守る強靱な地域づくり)に位置付けられている。 ・諫早市総合計画の中で、基本施策「いのちを守る防災対策」に有喜川河川整備事業の推進が挙げられている。	・特に開発計画はなく、人口の変動は少ない。	・洪水氾濫被害に対する安全確保のため、河川改修事業の早期完成が望まれている。	3.06	4.03	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・事業費の増額 【その他要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレクターの改定	・可能な限りコスト削減を図る。 ・代替案の可能性はない。	H29	継続
						H5	R11	50.0															
河川- 3	総合流域防災事業	雪浦川	県	西海市	改修延長L=2,500m 河床掘削、築堤、護岸等	H27	R6	37.4	事業採択後 6～9年経過	7.0	18.7	0(0)	2.3	28.1	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025(災害に強く、命を守る強靱な地域づくり)に位置付けられている。	・地域おこしが活発な地域で、イベント開催時期には多くの人が集まる。また、店舗や宿泊施設も整備され、地域活性化が促進されている。	・洪水氾濫被害に対する安全の確保のため事業の早期完成が望まれている。	1.36	1.25	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・工期延期 【その他要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレクターの改定	・可能な限りコスト削減を図る。 ・代替案の可能性はない。	-	継続
						H27	R16	37.4															
河川- 4	総合流域防災事業	釣道川	県	新上五島町	L=1,450m 河道拡幅に伴う掘削、護岸、および橋梁の改築等	H4	R6	41.0	再評価後変更	40.7	92.5	100(100)	0.5	2.8	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025(災害に強く、命を守る強靱な地域づくり)に位置付けられている。 ・青方北部土地区画整理事業完了(H元～15、事業費18.1億円、面積A=5.4ha)	・新上五島町の中心部であり、公共施設等が集約されている地域である。	・洪水氾濫被害に対する安全確保のため、河川改修事業の早期完成が望まれている。	2.00	1.84	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・事業費の増加 【その他要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレクターの改定	・可能な限りコスト削減を図る。 ・代替案の可能性はない。	R1	継続
						H4	R6	44.0															

令和4年度 再評価対象事業一覧表

整理番号	事業計画							再評価の理由 ²	事業進捗の状況及び見込み					再評価の視点				前回審議年度	対応方針(原案)				
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期 事業費			前年度協 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%) ³	R4年度 事業費 (億円)	R5年度 以降事業 (億円)	上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析			コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無			
						着工	完了										(億円)				B / C		分析基礎の 要因の変化
						上段：当初 下段：変更	¹														当初 ¹	現行	
河川 - 5	都市基盤 河川改修事業	大井手川	長 崎 市	長 崎 市	改修延長 L = 2,150m 河道拡幅、河床掘削、護岸 整備、橋梁架替等	H13	R5	25.0	再評価後変更	17.8	71.2	55(76)	2.5	4.7	長崎市第五次総合計画の主要事業に位置づけ、滑石地区の公営住宅立替事業、街路事業等と連携して進めている。	河川に隣接する地区では、県営住宅の整備や区画整理事業による宅地化が進んでいる。	早期完成を要望。	3.63	3.91	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・特になし 【その他要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレクターの改定	発生残土を他工事に利用することでコスト削減を図る。 代替案の可能性はない。	R2	継続
						H13	R10	25.0															
河川 - 6	都市基盤河川改修 事業	よし川	大 村 市	大 村 市	改修延長L=1,895m 河道拡幅、河床掘削、護岸整 備、橋梁架替及び堰改築	H10	R10	40.9	再評価後 5年経過	29.1	56.9	68(61)	4.3	17.7	・第5次大村市総合計画の「災害に強いまちづくり」に位置づけられている。	・人口増加が続いている大村市の中でも交通網の整備等に伴い、近年宅地開発・工業開発等が進んでいる地域である。 また、令和4年9月に西九州新幹線新大村駅の開業が予定されており、本市の交流人口拡大と地域経済の活性化が期待されている。	・開発の進捗に伴い、洪水氾濫被害に対する安全確保のため、河川改修事業の早期完成が望まれている。	2.91	3.92	【プラス要因】 ・被害額の増加 【マイナス要因】 ・事業費の増額 【その他要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレクターの改定	発生残土の他工事流用など、可能な限りコスト削減を図る。 ・流域形態から上流でのダム施設などの適地がなく、代替案の比較をして決定している。	H29	継続
						H10	R10	51.1															
砂防- 1	事業間連携砂防等 事業(地すべり)	寺坂地区	県	諫早市	横ボーリング工 N=74本 集水井工 N=2基 抑止杭工 N=135本 排水ボーリング工 N=2本 集水ボーリング工 N=33本	H25	R2	8.0	事業採択後 10年経過	6.7	60.5	100(100)	0.5	3.9	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・保全家数の増(41戸 戸)	・地元より早期の事業概成を求められている。	4.49	4.60	【プラス要因】 ・各種評価額の変更 ・保全家数の増 【マイナス要因】 ・工期延長に伴うコスト増加 ・事業費の増(対策工の変更)	これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 代替案の可能性は無い。	-	継続
						H25	R9	11.0															
砂防- 2	急傾斜地崩壊対策 事業	白岳(11)地区	県	佐世保市	現場吹付法砕工A=5,040㎡ 鉄筋挿入工N=430本	H25	H29	3.0	事業採択後 10年経過	2.4	53.3	99(100)	0.4	1.7	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。 ・佐世保市地域防災計画において、「白岳(11)地区急傾斜地」として位置付けられている。	変化なし	・地元より早期の事業概成を求められている。	6.20	7.47	【プラス要因】 ・各種評価額の変更 【マイナス要因】 ・事業費の増 【その他要因】 ・マニュアル改定により人身被害の便益が増加	これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 代替案の可能性は無い。	-	継続
						H25	R7	4.5															